

千葉大学医学部附属病院で 胸膜由来孤立性線維性腫瘍で手術された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月1日

呼吸器外科

呼吸器外科では、手術症例についての後方視的検討に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2006年1月1日～2025年12月31日の間に胸膜由来孤立性線維性腫瘍で手術された方

1. 研究課題名

「胸膜由来孤立性線維性腫瘍手術症例についての後方視的検討」

2. 研究期間

2026年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胸膜由来孤立性線維性腫瘍は急速に進行する致命的な疾患ですが、比較的稀なため、これまであまり多数の症例を集めた報告がなく、手術法や術後処置などの治療戦略は十分には確立されていません。本研究では、当施設で胸膜由来孤立性線維性腫瘍の手術を受けられた方々の疾患背景や手術を含めた治療法、その結果について検討し、同疾患の新たな治療戦略を提案することを目的としています。

2006年1月1日～2025年12月31日の間に胸膜由来孤立性線維性腫瘍に対する手術を受けられた方を対象とし、診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、血液検査値、画像所見、手術の方法、術後経過と予後を調べます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室で解析が行なわれます。氏名等と研究 ID の対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、血液検査値、画像所見、手術の方法、術後経過と予後

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：呼吸器病態外科学 （教授）鈴木 秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 千代 雅子

043 (222) 7171 内線 5464